

八戸大学における資格講座への実践的取り組みの推進

篠崎 良勝

(八戸大学人間健康学部)

キーワード：資格取得，勉強会，福祉住環境コーディネーター

目的

八戸大学人間健康学部は、「心理」、「運動」、「栄養」、「福祉」という領域を総合的に学び、人材を育成する学部である。また、それぞれの領域ごとに目指す資格が存在し、「心理」の領域では認定心理士、「運動」の領域では、保健体育教員免許、および本年度からJATI(日本トレーニング指導者協会)の指導者養成校として資格取得のための受験資格を得ることができるようになった。「栄養」の領域では、健康管理士一般指導員の受験資格がある。このような資格取得以外にも、養護教諭免許や看護教諭免許に関しても免許取得に必要な講義の単位を取得することで免許が授与される。しかし、「福祉」の領域に関しては、大学の講義の単位を取得することで得られる資格や受験資格は存在していない。社会福祉士、精神保健福祉士に関しては受験資格に必要な一部の科目のみの取得となっている。このように他の領域と比べると、八戸大学人間健康学部において福祉領域に関する学生への資格取得の支援は不十分な状況と考えられる。

そこで、今回は福祉領域の資格取得の可能性の試行として福祉住環境コーディネーター3級、および2級の勉強会を開催し、学生の関心と興味を探ることとした。

方法

(1) 参加者

八戸大学の掲示板において、福祉住環境コーディネーター3級、および2級の募集を2008年2月1日から2008年4月22日までの82日間の募集を行った。掲示板みて問い合わせをして

きた学生は24名であった。実際に勉強会に参加した学生は14名(2年生10名、3年生4名)であった。また、全員が福祉住環境コーディネーター2級の希望であった。

(2) 勉強会の日時

2008年5月12日から2008年7月11日の平日に行った。時間帯は、17時から20時であった。

結果

勉強会に参加した学生全員が2008年7月13日に行われた「福祉住環境コーディネーター2級検定試験」を受験した。結果は、6名(2年生3名、3年生3名)の合格であった。

勉強会は任意の参加であり、アルバイトや学友会の都合で参加できない日などは、各自が自習をすることで全体のペースを保ちながら進めた。

また、参加した学生の主な声を掲載する。

○勉強会に参加したいと思った理由

・面白そうと思ったからです。元々バリアフリーなどに興味があったので、そのことについて学びたいという気持ちがありました。この資格ではそれだけではなく、医療や福祉、建築について学べるということで興味を持ちました。

○勉強会に参加しているなかで、感じたこと

・勉強する内容は決して簡単なものではなかったが、勉強を重ねていくうちに確実に知識が付いていくのが実感できたところが面白かった。

・今まで言葉しか聞いたことなかったことが

勉強していく中で、意味も分かるようになり、それが自分の知識となっていくのが楽しいです。

○勉強会に参加しているなかで、感じたの面白さ

- ・知らなかった事がわかるという所に面白さがあると思います。聞いたことはあっても詳しく知らなかった障害などを知ること、体の不自由な人がどんな事に困るのかななどを意識するようになりました。

○資格取得後の意識の変化

- ・普段の生活の中で、段差の有無、廊下やドアの幅、手すりの位置など、勉強した知識で身の回りの環境を見ることが出来るようになり、学習することに意欲的に取り組む

ようになった。また、これを機に様々な資格取得に挑戦してみたいと思うようになった。

考 察

今回、福祉住環境コーディネーターの勉強会の講師という立場も踏まえて感じたことは、福祉関連資格を求めている学生には、資格に関する情報提供をするだけでは十分な支援とは言えず、実際に勉強会に参加していた学生一人ひとりのパーソナリティを踏まえたうえで支援をしていくことが、学生の前向きな姿勢を生み出す結果となったこともこの場を借りて報告する。今後の八戸大学人間健康学部のカリキュラム等の検討の一助になれば幸いである。